

Chapter 12

Webアプリケーションプログラミング(2)

以下の指示に従って、クラス、オブジェクトを作成・実行せよ。なお、文中では個別に指示しないが、変更を行ったら適宜コンパイルすること。Web アプリケーションサーバー（コンテナ）としてWinstone を使用する。「Web アプリケーション開発環境構築の手引き」を見ながら環境を整えたうえで演習を行うこと。なお、今回はJSP を扱うため、設定に若干の追加が必要である。「Web アプリケーション開発環境構築の手引き (JSP 版)」を参照のこと。なお、先回の分が終わっていない学生は、先にそちらを終わらせてから今回の課題に取り組むこと。

12.1 Webアプリケーションの初歩(3)

input2.html、SimpleServlet2.java、output.jspを参考に、先回の仕様のWebアプリケーションプログラムをJSPを使って作成せよ。htmlファイル名はdataXXXXX.html、サーブレットのクラス名はcontrolXXXXX、JSPのファイル名は viewXXXXX.jspとする（XXXXXはALを除いた学籍番号）。必要なパッケージをimportすることを忘れないように。

- input.htmlを参考に、整数を入力するtextタイプのinputタグを二つもつhtmlを作成せよ。
- output.jspを参考に、入力された二つの整数の和をとり、画面に結果を表示するJSPを作成せよ。ただし、ブラウザでの表示は、タイ

トル「Calculation」、画面には「計算結果は、〇〇です。」（〇〇には和の値を入れる）と表示せよ。

- SimpleServlet2.javaを参考に、入力された情報をJSPに転送するサーブレットを作成せよ¹。
- なお、htmlファイルとservletのクラスファイル、jspファイルを適切な場所に配置せよ。JSPはhtmlと同様にディレクトリwebapp直下に配置する。

12.2 Webアプリケーションの初歩(4)

input2.html、SimpleServlet2.java、output.jspを参考に、次の仕様のWebアプリケーションプログラムを作成せよ。htmlファイル名はintXXXXX.html、サーブレットのクラス名は triconXXXXX、JSPのファイル名は triangleXXXXX.jspとする（XXXXXはLとチェックディジットを除いた学籍番号）。必要なパッケージをimportすることを忘れないように。

- input.htmlを参考に、整数を入力するtextタイプのinputタグをひとつもつhtmlを作成せよ。ただし、送信はGETを使うこと。
- JSPは、htmlで入力された整数をサーブレット経由で受け取り、入力整数の段数を持つ三角形を表示することとする。たとえば 4が入力されたら、

```
*  
**  
***  
****
```

という図形をブラウザ上に表示する。

12.3 発展問題

input2.html、SimpleServlet2.java、output.jspを参考に、次の仕様のWebアプリケーションプログラムを作成せよ。htmlファイル名はdbXXXXX.html、

¹本課題では転送するJSPのファイル名をかえるだけでよい。

サーブレットのクラス名は dbconXXXXXX、JSPのファイル名は dbXXXXXX.jspとする（XXXXXXはLとチェックディジットを除いた学籍番号）。必要なパッケージをimportすることを忘れないように。

- input.htmlを参考に、学生番号を入力するtextタイプのinputタグをひとつもつhtmlを作成せよ。ただし、送信はGETを使うこと。
- JSPは、htmlで入力された学生番号をサーブレット経由で受け取り、以前作成したチャットプログラムがアクセスするテーブルT_LOGから、入力された学籍番号をIDの値にもつレコードを検索し、そのレコードを表(tableタグ等を使って) として表示するものとする。